

2023 年度 英語科 シラバス

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	4	年次/コース	高 1/SS
使用教科書	LANDMARK English Communication I						
副教材など	LANDMARK English Communication I サブノート、DataBase3300、HyperListening Elementary						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養います。</p> <p>●コンピテンシーについて</p> <p>(1) 聞くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やり取り]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表]</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり、読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える文章を書くことができる。</p>

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4技能5領域「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」を伸ばしていくために、単語の暗記や長文の読解だけでなく、多種多様な活動を行います。 <p>●家庭学習において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語力を伸ばすためには、「英語の勉強の仕方」を正しく身に付けることが必要です。授業中に行ったことを自分のものにするために自主学習に取り組みましょう。 ・定期テストだけでなく、音読・スピーキング・ライティング課題をはじめとして、様々な課題に主体的に取り組むようにしてください。
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを

	外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	たり適切に伝え合ったりしている。	活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・提出物（サブノート、英作文、オンライン課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・提出物（サブノート、英作文、オンライン課題） ・インタビューテスト ・プレゼンテーション ・授業中の言語活動の取り組み状況（ペアワーク・グループワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の言語活動の取り組み状況（宿題の取り組み状況、ペアワーク、意見発表） ・インタビューテスト ・プレゼンテーション
<p>上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1~5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1~5の5段階)にまとめます。【成績割合】 テスト 60% 成果物 40% (学年末に5段階の評定にまとめます)</p>			

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	新生活での新たな目標の 見つけ方	○	○	○	・自分の高校生活における目標について、自分の考えを書いて伝えることができる。	LAMDM ARKの 学習内容 に加え、 DataBase を活用した 単語テスト、 HyperLis tengを 活用したり スニング テスト (定期試験に 含む)を実施 します。評価 はそれら すべての 成果を総合 的に判断して 評価しま す。
	Lesson 2 Curry Travels around the World	はるかなるカレーの旅	○	○	○	・カレーについての説明や会話を聞き、必要な情報を聞き取り、要点を捉えることができるようにする。	
	Lesson 3 School Uniforms	世界の制服事情	○	○	○	・学校の制服着用について賛成か反対か、自分の意見を伝えあうやり取りを続けることができるようにする。	
	Tips for Speaking 1, 2	アクセント 文における強勢	○	○	○	・語や句、文における強勢などの英語の特長やきまりに関する事項を理解し、情報や考えを話して伝えることができるようにする。	
2 学期	Lesson4 Eco-Tour on Yakushima	屋久島エコツアーを体験	○	○	○	・屋久島についての文章を通して受動態や関係副詞の意味や構造を理解する。また屋久島のエコツアーや環境保全について、要点を把握することができるようにする。	
	Lesson5 Bailey the Facility Dig	病院で働くファシリテ ィードッグ、ベイリー について	○	○	○	・自分が住む街の病院にファシリティドッグ導入の提案するために、導入の利点や自分の考えを書いて伝えることができるようにする。	
	Lesson6	世界の国々の言葉を用	○	○	○	・ノンバーバルコミュニケーションにつ	

	Communication without Words	いないコミュニケーション				いての会話から必要な情報を聞き取り、要点を把握できるようにする。
	Lesson7 Dear World: Bana's War	バナが世界に向けて発信したメッセージとは	○	○	○	・情報の入手手段としてインターネットを使うことについて賛成か反対か、自分の意見を伝えあうやりとりを続けることができる。
	Tips for Speaking 3 Tips for Listening 1	イントネーション つながる音	○	○	○	・イントネーションや語と語の音の繋がりなどの英語の特長やきまりに関する事項を理解し、話し手の意図を把握することができるようにする。
3 学 期	Lesson8 The Best Education to Everyone, Everywhere	社会起業家の思いと挑戦	○	○	○	・職業選択や社会起業家についての文章を読み、部分否定や知覚動詞を使用した表現、目的を表す表現の意味と構造を理解する。また文章を読み、社会起業家について情報を読み取り、要点を把握する。
	Lesson9 Space Elevator	エレベーターで宇宙へ?	○	○	○	・宇宙エレベーターで宇宙に行けるとしたら宇宙でどんなことをしたいか、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	Lesson10 Friendship over Time	トルコ軍艦エルトゥールル号の恩返し	○	○	○	・当時の大島の住人になったと仮定して、自分だったらエルトゥールル号の乗組員のためにどのようなことをしたか、自分の考えを書いて伝えることができる。
	Tips for Listening 2, 3	聞こえなくなる音 変わる音	○	○	○	・音の脱落、同化などの英語の特長やきまりに関する事項を理解し、話し手の意図を把握することができるようにする。